

口ぐせ・しぐさで人の心を見抜く本
Contents

① 章「口ぐせ編」理屈っぽい系の口ぐせ

結論から言うとは……	14	一番	30
あなたのために言うけど	16	頼むよ	32
みんなが言っていることだけ	18	絶対にくだ	34
つまり、あなたがおっしゃりたいのは	20	要するに	36
これは考え過ぎかもしれませんが	22	今だから言うけど	38
極論を言えば	24	早い話が	40
何度も言うように	26	平たく言えば	42
○○さんも言うてたけど	28		

② 章「口ぐせ編」あいまい系の口ぐせ

よくも悪くも	46	なんかさー	64
ビミョー	48	ある意味で	66
どちらかと言えば	50	ちよー	68
私的には	52	とりあえず	70
いちおうです	54	かわいい	72
なんとなく	56	く系	74
……みたいな	58	最近どう?	76
あの一	60	どうしよう	78
ありえない	62		

③ 章「口ぐせ編」自己アピール系の口ぐせ

それはそうと	82	借越ながら	86
ここだけの話だけ	84	オレ、頭が悪いんで	88

常識じゃん	90	……っていうか	104
もう死にそうですよ	92	やっぱり	106
俺に言わせれば	94	そうそうそう	108
今、私もそれを言おうと思っていたんです	96	そうですねー	110
いくつに見えますか?	98	逆に言うとは	112
キミはね、○○なんだよ	100	うちの会社	114
へんな話	102		

④ 章「口ぐせ編」甘え・逃げ系の口ぐせ

私って○○だから	118	何かとハタバタしてまして	130
もう年だから	120	しよせん	132
いまやろうとしていたのに!	122	今度、こっちから連絡するよ	134
あの頃は	124	どっちでもいい	136
へえ	126	なんか面白いことない?	138
君はどう思う?	128	まあ、いいじゃん	140

⑤ 章「口ぐせ編」批判系の口ぐせ

あなたは恵まれているからできる	146	悪く言えば	166
今の若い人ときたら	148	最近、太った?	168
こんなこと言いたくはないんだけど	150	だから言ったたる	170
基本的にはいい	152	何様のつもり?	172
ムリムリムリ	154	あなたにはわからないと思うけど	174
イライラする	156	若干	176
なんで自分だけが○○しなくちゃならないの	158	マジ?	178
あの人はくだから	160	あいつは器じゃないよ	180
お言葉を返すようですが	162	ウケる	182
別に……	164		

どうせだから 142

6章「口ぐせ編」持ち上げ・気遣い系の口ぐせ

完璧だ！	186	いい意味で	198
さすが〇〇は違うねー	188	ノリノリじゃん！	200
悪くない	190	いいですよ	202
釈迦に説法なんです	192	すーい	204
後学のために聞いておきたいんだけど	194	それって〜じゃない？	206
なるほど	196		

7章「しぐさ編」神経質系のしぐさ

鉛筆を回す、噛む	210	突然の反応	220
立ち話の態度	212	人と一緒に歩くリズム	222
ケイタイを手放せない	214	視線を合わさない	224
食事の仕方	216	机の上を指やペンで打ち続ける	226
カップを両手で持つ	218	唇をなめる	228

まばたきが多い	230
貧乏ゆすりが多い	232

ひげを抜く	234
-------	-----

8章「しぐさ編」自己主張系のしぐさ

アクセサリーを触る	238	店の座る位置	246
股をやたら広げる	240	腕を組む	248
鏡の自分を見つめる	242	あごに手をやる	250
電車のなかでの行動	244	髪をいじる	252

俺に言わせれば

次の二つのセリフを読み比べてみてください。

「あいつの営業力はまだまだだね」

「俺に言わせれば、あいつの営業力はまだまだだね」――。

どうでしょうか。「俺に言わせれば」を付け加えることで、どこか発言者の自己顕示したい雰囲気伝わってきませんか？ そうなのです。この言い回しには「俺みたいなレベルの人間から見たら、あいつは……」という気持ちが隠されています。

「俺に言わせれば」の前に「東大出身の」「海外暮らしの長い」などの形容詞が付くと、その自己顕示はさらに高まっていきます。

しかし、発言者の気持ちとは裏腹に、聞く側には「発言者の権威」があまり伝わってきません。それは「俺に言わせれば」という表現に、どこか品の悪さが漂ってしまっているからです。

食事の仕方は、主に三つのパターンに分類することができます。

一つめは「好きなものから早食いの人」。こういう人は、見るものすべてが欲しくなってしまうタイプ。

一度欲しいと思ったら、絶対に手に入れるまで、諦めません。しかも執着心も強く、自分のものは誰にも奪われたくない気持ちも強く持っています。もし、隙を突いて、その人の好物を横取りすれば、間違いなく大声で「ふざんけんなよ！」と怒りをあらわにすることでしょう。絶対に、そんなイタズラをしてはいけません。

ん。

二つめのパターンは「どれもまんべんなく普通の早さで食べる人」。こういう人は、絶対にこれではなくてはダメというような執着心はまったくありません。たとえ欲しいものがあったとしても、手に入らないと思ったら、驚くほどあっさり諦めるタイプです。

だからこそ、好きなものを先には口に入れないわけです。「これ食べたいなあ」と言えば、たとえ好物だったとしても「あげるよ」という心の大らかさも持っています。

三つめは「好きなものを後回しにしてゆっくり食べる人」。これは、もうマイペースです。人が何と言おうと、自分が興味のあるものだけに執着するタイプと言えます。

人気や流行にも左右されず、本当に自分が欲しいと思ったものを見つけ出していきます。そして狙ったものは時間がかかっても、最終的に確実に手に入れる人です。

股をやたら広げる

そんな人は、見た目どおり、かなり**攻撃的な人が多い**と言えます。股を広げるのは強さを誇示するためで、自己顕示欲が強く、人を寄せ付けたくない縄張り意識もあります。常識が通用しないタイプもいるので、何をされるかわかりません。こんな人を見かけたら、まず近付かないこと。それが無難です。

店の座る位置

まず「**端っこの壁側の席**」を選ぶ人は、目立つことを嫌っている可能性が高いといえます。

また、全体の雰囲気を観察したい人も、ここに座ります。

「**入り口近くの席**」に座りたがる人は、三つのタイプに分かれます。一番多いのは「**気配りの人**」。入り口付近であれば、店員に声をかけやすいため、追加注文や会計をするときに便利だからです。

「早くその場を去りたい人」も、入り口付近に座る傾向にあります。場が盛り上がった隙に、そっと帰ろうという気持ちが見えてきますね。三つめは「**トイレが近い人**」。

「**真ん中付近の席**」に座ろうとする人は、自分に自信を持っている人です。自己顕示欲も強く、自分を中心に座は盛り上がると信じて疑っていません。